

カラーコーディネーター検定試験 2級問題集 【正誤表】

第3版1刷 (2012年 5月 15日発行)

第3版2刷 (2012年 11月 15日発行)

第3版3刷 (2014年 7月 31日発行)

最新版第1刷 (2015年 1月 31日発行)

最新版第2刷 (2016年 4月 10日発行)

最新版第3刷 (2017年 8月 10日発行)

2017年 12月 21日現在

刷	頁	該当箇所	記述内容 (誤)	記述内容 (正)
3版 1刷	29	第19問 問題文4行目	ティモ&スオマライネン兄弟の～	ティモ&トウオモ・スオマライネン兄弟の～
	30	第20問 [エの語群]④	チャタル・ヒュスク	チャタル・ヒュユク
	99	第80問 ⑬	プラスチック着色剤とは、合成油脂の内部に分散させて～	プラスチック着色剤とは、合成樹脂の内部に分散させて～
3版 1刷 2刷	197	解答・解説 第2章 第11問	⑧オートクチュールはアールヌーボーから生まれたものではない。	⑧オートクチュールはアールデコから生まれたものではなく、1868年にシャルル・フレデリック・ウォルトが高級仕立て店を組織化し、1911年にポール・ポワレによって改組された組織が元になっているもの。
3版 1刷 2刷	29	第2章 第19問 ウの設問	日本の建築家[ウ]が設計した、直島の「地中海美術館」は、美しい自然を損なわないよう建物の大半が地下に埋設されている。	日本の建築家[ウ]が設計した、直島の「 <u>地中海美術館</u> 」は、美しい自然を損なわないよう建物の大半が地下に埋設されている。
3版 3刷	100	第4章 第80問 ⑭の文章	熱可塑性樹脂様	熱可塑性樹脂用

刷	頁	該当箇所	記述内容 (誤)	記述内容 (正)
3版 3刷	226	解答・解説 第5章 第113問①	①心理変数としての存在が無から有に変わる境界の物理変数の値である。	① <u>刺激閾は、刺激が心理に感じられる最少の値で</u> 、心理変数としての存在が無から有に変わる境界の物理変数の値である。
最新 1刷 2刷	109	第4章 第88問 問題文 下から2行目	色を [オ] 光学機器を用い、～	<u>光</u> を [オ] 光学機器を用い、～
最新 1刷 2刷	99	第4章 第80問 問題文 ⑫ の2行目	塗料とは、物の表面の保護や美観・加飾のために表面を覆うことを目的とした色材で、 <u>展色材</u> の中に顔料を分散させたものである。	塗料とは、物の表面の保護や美観・加飾のために表面を覆うことを目的とした色材で、 <u>展色剤</u> の中に顔料を分散させたものである。
最新 1刷 2刷	211	解答・解説 第3章 第64問	[ウ] ①試験光源	[ウ] ③試料光源
最新 1刷 2刷 3刷	69	第3章 第54問 問題文の1行目	「明るさ」とは、人間が知覚する心理量である。これを物理量に間接的に測定した量を [ア] という。	「明るさ」とは、人間が知覚する心理量である。これを <u>物理量により</u> 間接的に測定した量を [ア] という。